

本状は、GMO ペパボ株式会社、GMO ペパボガーディアン株式会社、株式会社 W・I・Z による共同プレスリリースです。
各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2020 年 11 月 19 日

報道関係各位

GMO ペパボ株式会社
GMO ペパボガーディアン株式会社
株式会社 W・I・Z

「ロリポップ！レンタルサーバー」、 WordPress で作成されたサイトの脆弱性を診断するオプション 『WP セキュリティ診断』を 11/19（木）より提供開始

GMO インターネットグループの GMO ペパボ株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎 以下、GMO ペパボ）、および関連会社である GMO ペパボガーディアン株式会社（代表取締役社長：佐藤 健太郎 以下、GMO ペパボガーディアン）並びに株式会社 W・I・Z（代表取締役：松岡 宏満 以下、WIZ）の 3 社は、WordPress で作成されたサイトの脆弱性を診断するオプション『WP セキュリティ診断』を共同開発し、GMO ペパボが運営する「ロリポップ！レンタルサーバー（以下、ロリポップ！）」（URL：<https://lolipop.jp/>）のオプションとして本日 2020 年 11 月 19 日（木）より提供開始いたします。

本オプションを利用することで、コンテンツマネジメントシステム（以下、CMS）の WordPress を使用している「ロリポップ！」のユーザーは、運営するホームページのセキュリティ強化を図ることができ、これまで以上に安全性の高い環境でサイトを運営することができます。



【『WP セキュリティ診断』の提供について】

近年、インターネット上で行われるサイバー犯罪が増加傾向^(※1)にある中で、手口の1つであるホームページの改ざんや乗っ取りは、気が付かないうちに機密情報が流出していた、コンピュータウイルスの拡散に利用されていたといった深刻なケースも報告されていることから、ホームページ運営における懸念事項となっています。特に国内のCMSシェア82.8%^(※2)を誇るWordPressは、プラグインやテーマが多くカスタマイズしやすい反面、そのシェアの大きさからサイバー攻撃の標的にされやすいため、攻撃の際に狙われる脆弱性をいち早く見つけ、対策を打つことが重要です。

こうした中「ロリポップ！」では、WordPressを使用してホームページ運営を行うユーザーの間で、独自に外部のサービスを利用して脆弱性診断を行っているケースが増加していました。

そこで「ロリポップ！」は、こうしたセキュリティ対策へのニーズの高まりにお応えすることで、ユーザーにずっと安心して利用し続けていただけるよう、ホームページのセキュリティ強化を支援するため、自動的に継続してセキュリティ診断を行うオプション『WP セキュリティ診断』を提供することといたしました。

『WP セキュリティ診断』は、「ロリポップ！」を運営する GMO ペパボと、インターネット上で安全に表現活動を行える環境をつくるために設立した情報セキュリティ事業を展開する GMO ペパボガーディアン、そして WordPress を用いた高セキュリティ案件の実績が豊富なクリエイティブ・テクノロジー企業である WIZ の 3 社が共同開発いたしました。

(※1) 警察庁「令和元年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等」(2020年3月5日)

https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R01_cyber_jousei.pdf

(※2) Percentages of websites using various content management systems among the sites that use Japanese : W3Techs.com, 26 October 2020 : https://w3techs.com/technologies/segmentation/cl-ja-content_management

【『WP セキュリティ診断』の概要】

『WP セキュリティ診断』は、WordPress で作られたホームページのプラグイン、テーマなどをスキャンし、脆弱性の有無を診断することでホームページのセキュリティ強化を支援するオプションサービスです。1日1回、自動診断を実施し、問題を検出すると、登録されているメールアドレスに通知されます。ユーザーはメールの通知により脆弱性をいち早く把握することができ、迅速な対応を行うことが可能となります。また、脆弱性診断はユーザーの任意のタイミングでも行うことができます。診断の完了後には、脆弱性のあるプラグインに関する警告やアップデートの提案などをまとめたレポートが PDF 形式で生成されます。レポートは、ユーザー専用ページ(コントロールパネル)のセキュリティ内『WP セキュリティ診断』からダウンロードいただけます。診断結果に沿ってセキュリティ対策を行うことで、より安全性の高いホームページ運営が実現できます。

オプション名	WP セキュリティ診断
提供開始日	2020年11月19日(木)
利用料金	月額 500円(税抜) / 1サイト * 10日間のお試し利用が可能です。 * 複数サイトを1契約で運営している場合、複数サイトの診断を行うには1サイトごとに利用料金がかかります。
申し込み方法	「ロリポップ！」のユーザー専用ページ(コントロールパネル)のセキュリティ内『WP セキュリティ診断』からお申し込みいただけます。
詳細 URL	https://lolipop.jp/service/specs/wpsecurity/

診断情報

サイト名
Example Domain

サイトURL
www.example.com

診断日時
2020.11.17 (Tue) 08:00:10

診断結果

判定: C
リスクがある状態です。

警告レベルのセキュリティ上の問題があります。そのまま放置していると、改ざんや不正アクセスのリスクがあります。WordPressやプラグイン、テーマなどは最新版を利用するようにしましょう。

サマリー

インストールされているコア (WordPress)、テーマ、プラグインから2個の【警告】と3個の【注意】が検出されました。

	安全	注意	警告	要対応	要緊急対応
コア	-	3	2	-	-
テーマ	1	-	-	-	-
プラグイン	1	-	-	-	-

2020/11/17/09:09 診断結果 | Example Domain

1/3

脆弱性の詳細

コア (WordPress)

5.0.9以上のバージョンにアップデートすることで脆弱性を解決することができます。WordPressの最新バージョンは5.5.3です。

警告 WordPress < 5.4.1 - Authenticated Cross-Site Scripting (XSS) in File Uploads
実害の無いものからアカウントの漏えいまで、エンドユーザーにとって様々な危険度の問題を引き起こす可能性があります。
Fixed in : 5.0.9
Reference : <https://wordpress.org/news/2020/04/wordpress-5-4-1/>
Reference : <https://core.trac.wordpress.org/changeset/47636/>
Reference : <https://www.wordfence.com/blog/2020/04/unpacking-the-7-vulnerabilities-fixed-in-todays-wordpress-5-4-1-security-update/>
Reference : <https://github.com/WordPress/wordpress-develop/security/advisories/GHSA-3gw2-4656-pfr2>
Reference : <https://hackerone.com/reports/179605>

警告 WordPress < 5.4.1 - Cross-Site Scripting (XSS) in wp-object-cache
実害の無いものからアカウントの漏えいまで、エンドユーザーにとって様々な危険度の問題を引き起こす可能性があります。
Fixed in : 5.0.9
Reference : <https://wordpress.org/news/2020/04/wordpress-5-4-1/>
Reference : <https://core.trac.wordpress.org/changeset/47637/>
Reference : <https://www.wordfence.com/blog/2020/04/unpacking-the-7-vulnerabilities-fixed-in-todays-wordpress-5-4-1-security-update/>
Reference : <https://github.com/WordPress/wordpress-develop/security/advisories/GHSA-568w-6m88-8g2c>

注意 WordPress < 5.4.1 - Unauthenticated Users View Private Posts
Fixed in : 5.0.9
Reference : <https://wordpress.org/news/2020/04/wordpress-5-4-1/>
Reference : <https://core.trac.wordpress.org/changeset/47635/>
Reference : <https://www.wordfence.com/blog/2020/04/unpacking-the-7-vulnerabilities-fixed-in-todays-wordpress-5-4-1-security-update/>
Reference : <https://github.com/WordPress/wordpress-develop/security/advisories/GHSA-xh9-759f-6p2w>

2020/11/17/09:09 診断結果 | Example Domain

2/3

▲レポートサンプル画像

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO ペパボ株式会社 社長室広報チーム 田辺
TEL : 03-5456-2614 E-mail : pr@pepabo.com

●GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 石井・長井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO ペパボ株式会社】 (URL : <https://pepabo.com/>)

会 社 名	GMO ペパボ株式会社 (東証第二部 証券コード : 3633)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 健太郎
事 業 内 容	■ホスティング事業 ■EC 支援事業 ■ハンドメイド事業 ■金融支援事業
資 本 金	1 億 5,967 万円

【GMO ペパボガーディアン株式会社】 (URL : <https://pepabo-guardian.com/>)

会 社 名	GMO ペパボガーディアン株式会社
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 2-7-21
代 表 者	代表取締役社長 佐藤 健太郎
事 業 内 容	■情報セキュリティに関するサービス・アプリケーションの開発・販売 ■研修・セミナーの企画・実施及びコンサルティング等一切の附帯業務
資 本 金	2,000 万円

【株式会社 W・I・Z】 (URL : <http://www.wiz-net.jp/>)

会 社 名	株式会社 W・I・Z
所 在 地	鹿児島県鹿児島市上之園町 24-23
代 表 者	代表取締役 松岡 宏満
事 業 内 容	■ テクノロジーコンサルティング ■ WEB 制作・開発 ■ システム開発・支援
資 本 金	500 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2020 GMO Pepabo, Inc. All Rights Reserved.

Copyright (C) 2020 GMO Pepabo Guardian, Inc.